

008

賃貸タワーマンションにおける イベント型防災訓練の実施

取組主体

乾汽船株式会社

従業員数

想定災害

実施地域

174 人

全般

東京都

・所有する賃貸タワーマンションにて、居住者と近隣住民を対象とした防災イベントを実施。防災を「真面目に楽しく体験する」をテーマとして、タワーマンションならではの課題に向き合う訓練を行っている。

1 取組の概要

防災イベント「ぼうさいさい（防災祭）-究極の防災訓練-」の実施

- ・外航海運事業、倉庫事業、不動産事業の事業に取り組む乾汽船株式会社は、2023年9月に、自社が所有する賃貸タワーマンション「プラザタワー勝どき」にてタワーマンションの居住者と近隣住民を対象とした防災イベントを実施した。
- ・本イベントは、タワーマンション特有の被災を体験し、正しい避難行動を伝え、家族・居住者同士で楽しみながら訓練に参加することで、有事の際の共助のための関係性構築を狙った防災イベントである。



訓練の様子

2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

- ・防災訓練への参加率向上を狙って防災を「真面目に楽しく体験する」というテーマを掲げ、合わせて災害時に重要となるコミュニティ醸成も狙い「自助」と「共助」を念頭においたイベントとした。

多世帯の安否確認

- ・512戸もの世帯が住むタワーマンションでは、ひとりひとりの安否確認が難しい。そこで安否確認の訓練を実施した。
- ・事前配布した「無事」「要救助」などの安否情報を記載したカードをドアノブにかけ、各戸の被災状況を防災対策本部（災害時1階エントランスに設置される）に集約。集約した情報はフロアごとに確認・集計し、防災対策本部へ報告する、という一連の流れを体験した。



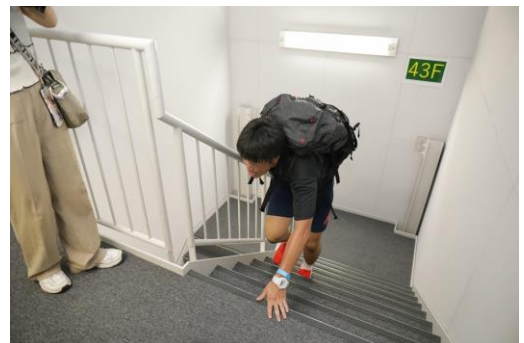
訓練の様子

家族で楽しめる防災&防犯スタンプラリー

- ・タワーマンションでは、子どもを含む家族世帯が多い。そこで、子どもも楽しめるよう、様々な訓練を体験することでスタンプを集めていくスタンプラリーを実施した。
- ・AED 訓練、クイックアーム・クイックキャッチ、指紋採取体験、蹴破り体験、消火器消火栓体験、エレベーター閉じ込め体験、警察講話、白バイパトカー消防車展示、建物内廊下を使つての煙体験、警察護身術消防着訓練実演などの訓練を体験することができる。
- ・各訓練に参加し条件を満たした参加者のうち、子どもにはお菓子、大人には非常食を提供した。

「健脚さん・強力さん・金剛さん」体験

- ・プラザタワー勝どきの避難階段は1階～43階まであり、停電などでエレベーターが停止すると、最上階までは804段の階段を上る必要がある。タワーマンションならではの被害を想定し、最上階43階まで24リットルの水を入れたリュックを背負って上る体験を実施した。



804段を登る「健脚」イベントの様子

3 取組の効果

- ・総勢 300 名近い参加が得られ、防災に関して考えを深める機会となった。

4 取組への想い

- ・東日本大震災から 12 年が経過し、防災意識が希薄になる中、防災訓練の参加率の低さを課題と感じていた。誰もが防災を重要視はしているものの、訓練となると参加率は低くなる。さらに賃貸マンションは年間約 25%の入居者の入れ替わりがあり、住民間の関係性の構築にも課題があった。
- ・そこで、防災を「真面目に楽しく体験する」というテーマを設定し、タワーマンション特有の被害を想定した防災イベントを行うことで、訓練を通じた「自助」への意識の高まりと、居住者間で助け合う「共助」の輪が広がることを目指して本取組を始めた。

5 防災・減災以外の効果

- ・災害時に防災対策本部となる 1 階エントランスには、「コミュニケーションボード」という近隣の地図がある。災害時には避難所や救援物資の情報共有に使われるが、平時は居住者たちが近隣でおすすめの店などの情報を自由に投稿できるようになっており、居住者の交流の機会となっている。
- ・タワーマンションならではの課題に向き合うイベントが地域で高評価を得て地域の防火防災功労賞にて最優秀賞を受賞した。

6 現状の課題・今後の展開等

- ・賃貸マンションは年間約 25%の居住者が入れ替わるため、防災訓練への参加率の低さ、居住者のコミュニティ醸成については当初から課題を持っており、今後も課題解決に向けて実施内容を検討していきたい。
- ・地域との連携も大きな要素となるため、警察・消防の他にもタワーマンション管理組合や自治会など、広く声掛けをしながら本取組を発信していく。

7 周囲の声

- ・「災害時のタワーマンションでは水道・電気のインフラ停止、エレベーター停止などタワーマンション特有の『暮らしに不便を強いられる』被害が想定される。このような取組は大変評価すべきものである。」（消防署担当者）

担当者の声

- ・「自助」「共助」「公助」の概念のうち、タワーマンションの居住者は「自助」による在宅避難が原則となる。訓練を通じて「自助」を考える機会としていきたい。
- ・「自助」の次段階として、タワーマンション内で助け合う「共助」の輪が広がっていくよう、今後の防災イベントについても新たなチャレンジを重ねていく。

問合せ先	動画	サイト URL
乾汽船株式会社 電話番号：03-3531-0221 FAX：03-5548-7704 E-Mail：Shigeta.minoru@inui.co.jp URL：https://www.inui.co.jp/	